

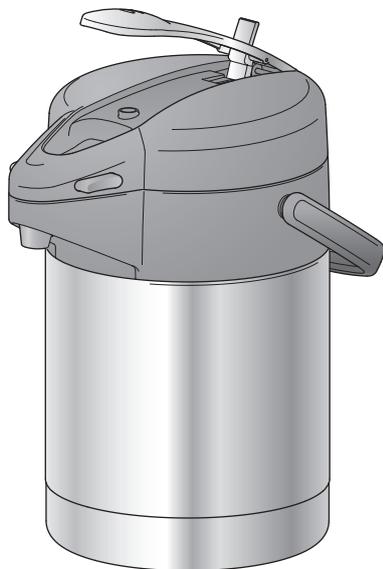


## 取扱説明書

このたびは、オルゴ ステンレスエアポットをお買い上げいただきありがとうございます。この製品を正しくお使いいただくために、ご使用にあたっては必ず取扱説明書をお読みください。お読みいただいたあとは大切に保管して、ご使用上で分からない点や不具合な点が生じた場合はお確かめください。

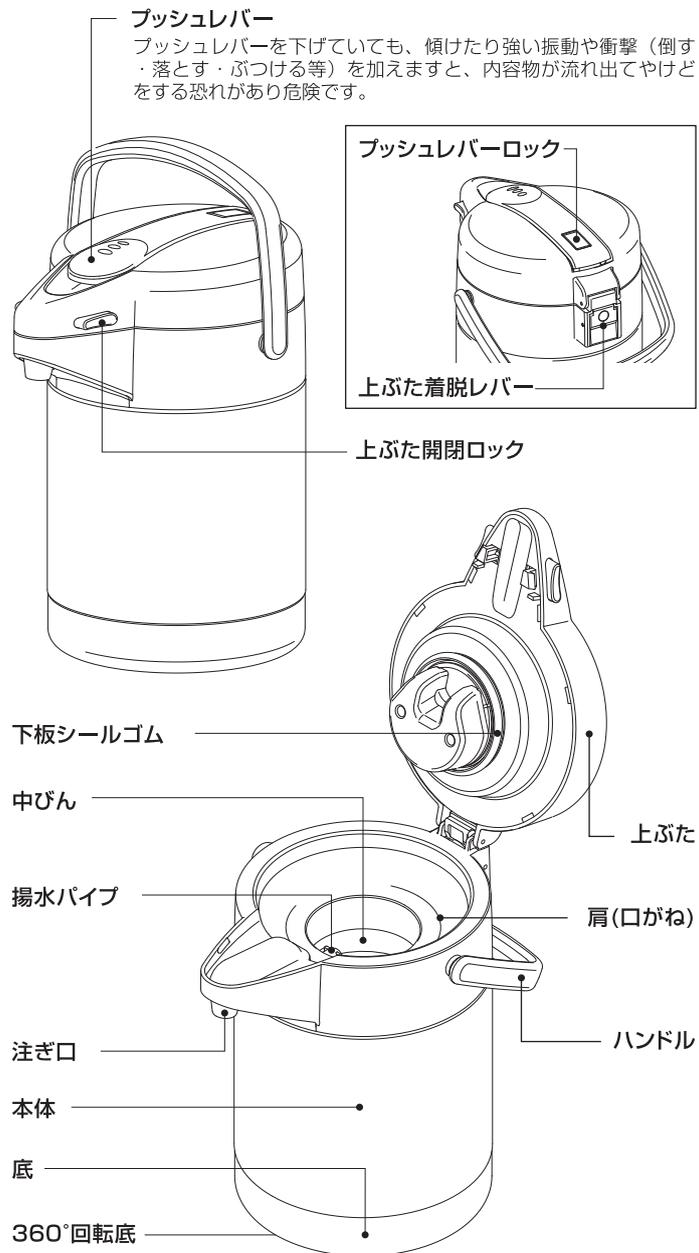
丈夫で省エネ

ステンレス  
まほうびん



オルゴ株式会社

AHL57-001

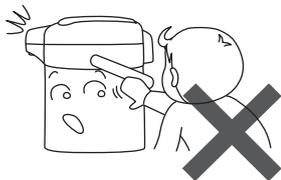


※品質向上・改良のため、予告なく機構、デザイン等を変更することがありますので、ご了承ください。

# 必ずお守りください。

- この製品は、飲料物を入れての保冷・保温を目的としたものです。それ以外の用途にはご使用にならないでください。
- 漏れやあふれは、やけどや他のものを汚す原因となります。
- ご使用になるときは、やけどや飲料の変質・変色、製品の故障や汚れを防ぐために、下記の事は必ずお守りください。

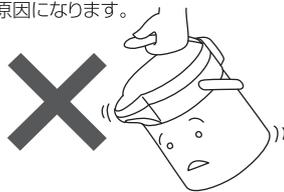
- 乳幼児の手の届く所には置かないでください。また、いたずらには充分注意してください。
- やけど等危険です。



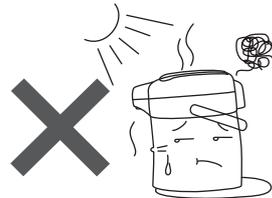
- 次の物は絶対に入れないでください。
  - ・ドライアイス、炭酸飲料など
  - ・牛乳、乳飲料、果実など
  - ・みそ汁、スープ等塩分を含んだもの
  - ・お茶の葉、果肉など腐敗・目詰まり・変質の原因となります。



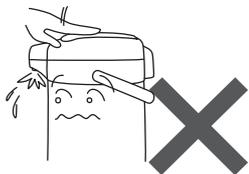
- 持ち運びは必ずハンドルを持って移動してください。レバーを持ったり、傾けたり横にして持たないでください。
- レバーが折れたり、漏れ、やけどや汚れの原因になります。



- ストーブやコンロなどの火のそばに近づけないでください。又は直射日光の当たる場所に置かないでください。
- 変形・変色の原因になります。



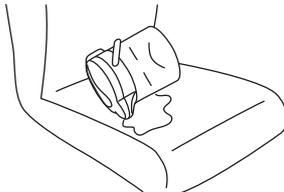
- 内容物が少ないときは、プッシュレバーを強く押さないでください。
- 最後に注ぎ口から内容物が飛び散ることがあります。



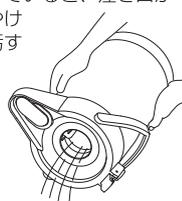
- 内容物を入れたときは、横転させないでください。また倒したり落としたりぶつけたり、強い振動(特に上下の振動)や衝撃を加えないでください。
- 内容物が出てやけどをする恐れがあります。



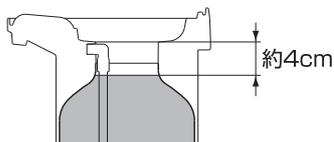
- 内自動車に持ち込まないでください。
- 内容物が出て、やけどや汚れの原因になります。



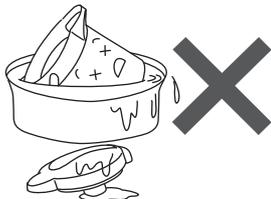
- 内容物を捨てる時は必ず上ぶたを取り外し、注ぎ口を横に向けて捨ててください。
- 注ぎ口が下を向いていると、注ぎ口から内容物が出てやけどや他のものを汚す原因になります。



- 内容物は肩(口金)から約4cm下で止めてください。
- 満量にすると、上蓋を閉めるときにあふれることがあります。



- 本体のまる洗いや、つけ置き洗いは絶対しないでください。
- 水が侵入し、錆が発生したり、他の物を汚す原因になります。



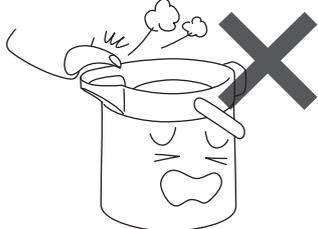
- 熱いものを入れた場合は直接飲まないで、必ずコップなどをご使用ください。また、熱いものを注ぐ時は、本体を急に傾けないでください。
- 内容物が勢良く出て、やけどなど危険です。
- 湯水パイプの煮沸はしないでください。
- 変形し、漏れなど故障の原因になります。
- 分解修理はしないでください。
- 故障や事故の原因になります。
- 飲料物の保温・保冷以外には使用しないでください。
- この製品は底が回転しますので、内容物を注ぐときは、本体が回らないよう充分注意してください。
- やけどの恐れがあります。

## ご注意とお願い

- 氷を入れる場合は先に飲料物を入れ、小さく砕いた氷をすべらせるようにして入れてください。



- 熱いやかんをプラスチック部分に触れさせないでください。
- 傷や変形の原因になります。



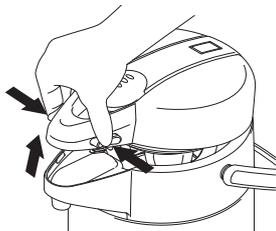
- 落としたりぶつけたり、強い衝撃を与えないでください。
- 変型して保温不良など故障の原因になります。
- シンナー・ベンジン・化学ぞうきん・みがき粉・たわし・クレンザー・台所用以外の洗剤・塩素系漂白剤などは使用しないでください。
- キズがついたり、サビ・故障の原因になります。
- 熱いお茶を入れて保温した場合、お茶の色が変わることがあります。中びん内にはお湯を入れ、お茶の時は急須等をご使用ください。
- お茶、又は糖分・塩分を含んだものを入れて使用した後は、熱湯を入れて給湯を繰り返し、充分にお手入れしてください。

# ご使用方法

初めてお使いになるときは、必ず中びん、揚水パイプ、注ぎ口をぬるま湯などで洗い、清潔にお使いください。  
ただし、丸洗いはしないでください。  
使いはじめはプラスチックの臭いがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。

## ① 上ぶたを開ける

・プッシュレバーが下がっている事を確認して、上ぶた開閉ロック内側方向に押えながら上ぶたを持ち上げてください。

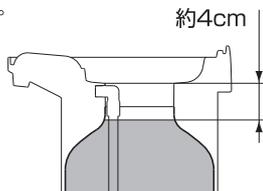


## ② 内容物(お湯・冷水など)を入れる

・内容物は肩(口金)から約4cm下で止めてください。

[注意]

満量にすると、上ぶたを閉めるときにあふれる事があります。  
・保温の場合は、保温効果を上げる為少量の熱湯を入れ、約1分予熱すると効果的です。  
予熱後はそのお湯を捨ててから内容物を入れてください。

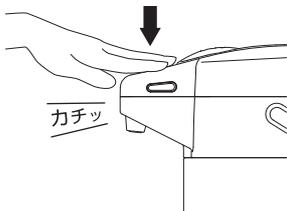


## ③ 上ぶたを閉める。

・上ぶたは「カチッ」という音がするまで確実に閉めて下さい。  
・上ぶたを閉めるときは、プッシュレバーを押さないでください。

[注意]

プッシュレバーが上がった状態で上ぶたを閉めると、内容物が出てやけどや他のものを汚す原因になります。

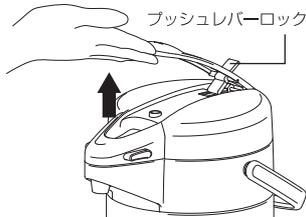


## ④ プッシュレバーを上げ、プッシュレバーロックをセットする。

・プッシュレバーは、ロックされるまで確実に持ち上げてください。

[注意]

プッシュレバーが確実にロックされていないと、給湯できなかったり、けがや故障の原因になります。



## ⑤ プッシュレバーを押し、内容物(お湯・冷水など)を注ぐ

・急須やコップを注ぎ口の下に近づけ、静かにプッシュレバーを押し下げてください。

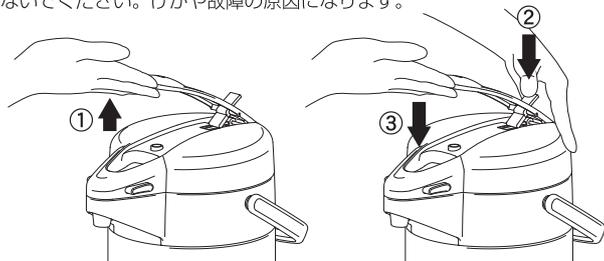


## ① 注ぎ終わったら、プッシュレバーを元にもどす

・①プッシュレバーを一度持ち上げ、②プッシュレバーロックを押してロックを外し、③そのまま静かにプッシュレバーを下ろします。  
・安全の為に、注ぎ終わったら必ずプッシュレバーを元の位置に戻してください。

[注意]

プッシュレバーロックがセットされたまま、プッシュレバーを無理に戻そうとしないでください。けがや故障の原因になります。

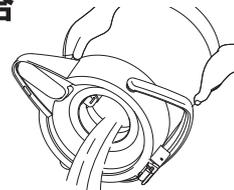


## ② ご使用後、内容物を捨てる場合

・内容物を捨てるときは必ず上ぶたを取り外し、注ぎ口を横に向けて捨ててください。

[注意]

注ぎ口が下を向いていると、注ぎ口から内容物が出てやけどや他のものを汚す原因になります。



## ● 上ぶたの外し方、つけ方

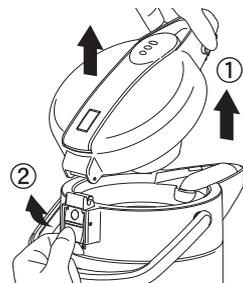
①上ぶた開閉ロックを内側方向に押さえながら、上ぶたを持ち上げてください。

②上ぶた着脱レバーの下の方をつまみ、手前に引き上げると上ぶたが取り外せる状態になりますので、上ぶたを開け、上方向に引き抜いてください。

・上ぶたを取り付けるときは、逆の手順で確実に取りつけてください。

[注意]

上ぶたが確実に取り付けられていないと、正常に作動しません。



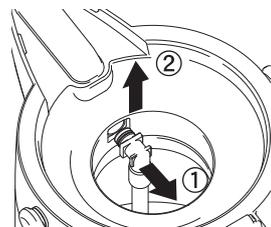
## ● 揚水パイプの取り外し方、つけ方

・氷を入れるときやお手入れの際は、右図のように揚水パイプを取り外す事ができます。

・揚水パイプを取り付けるときは、逆の手順で確実に取りつけてください。

[注意]

揚水パイプが確実に取り付けられていないと、内容物の出ない原因になります。



# お手入れの方法1

- 中びんに残った内容物を捨て、毎日簡単なお手入れをしていただくことが、いつまでも清潔にご愛用いただくコツです。
- お手入れをおこたったり、内容物を長い間入れたままにしておきますと、各部の汚れがめだってきます。

## 上ぶた・本体

- ・布（台所用洗剤を入れた水に浸し固くしぼったもの）でふきとってください。
- ・本体や上ぶたのまる洗い、つけ置き洗いは絶対にさけてください。水が侵入しサビが発生する事により、保温効力が損なわれることがあります。
- ・注ぎ口等が汚れると、しずくが落ちることがありますので、注ぎ口等の汚れをきれいにふきとってください。

## 中びん

- ・お湯でうすめた洗剤液を柄のついたやわらかいスポンジブラシに含ませ、ていねいに洗い、プッシュレバーを繰り返し押し、注ぎ口等から洗剤液を洗い出してください。

## 揚水パイプ

- ・揚水パイプを取りはずし、洗剤をうすめたお湯のなかで、やわらかいスポンジで洗ってください。

## 揚水パイプ～注ぎ口内部

- ・中びんに、お湯でうすめた台所用洗剤を入れ、プッシュレバーを繰り返し押し。
- ・洗い終わったら再び中びんにお湯を入れ、プッシュレバーを繰り返し押し、洗剤をよくすすぐ。

## 長期間で使用にならないときは

- ・上ぶた・本体・中びんなどの汚れを落とし、乾いた布で拭き、自然乾燥させてください。特に中びんは充分乾燥させてください。

中びんにはステンレス鋼を使用していますが、水質や不純物などにより「サビのような赤い斑点」や「ザラザラしたもの」が付着する場合があります。このような場合は、市販のクエン酸をぬるま湯でうすめて中びんに入れ、2～3時間後に柔らかいブラシなどできれいに洗った後、水で十分にすすいでください。

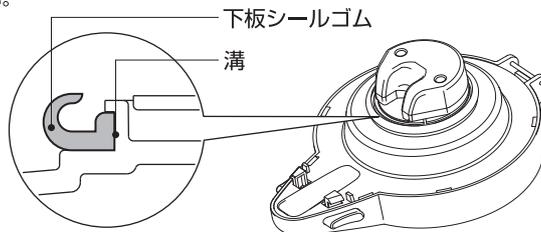
- 本体や上ぶたの丸洗い、つけ置き洗いはしないでください。  
水が侵入しサビが発生する事により、保温効力が損なわれる事があります。
- 食器洗浄乾燥機などの使用はしないでください。  
変形や、漏れの原因になります。
- 塩素系漂白剤は使用しないでください。  
さびたり、穴が開く原因になります。
- シンナー類、クレンザー、金属たわし、化学ぞうきんなどは使用しないでください。  
キズやサビ、故障の原因になります。
- スポンジや布は柔らかいものを使用してください。
- お茶、又は糖分や塩分を含んだものを入れた後は、熱湯を入れて給湯を繰り返し、充分にお手入れをしてください。
- 他の物と一緒にお手入れするときは、製品に傷がつかないようにご注意ください。

# お手入れの方法2

## 麦茶やほうじ茶を入れられるときは

- ・麦茶やほうじ茶を入れて使うとでんぷん質などが水の通路に付着し、水の出が悪くなったりレバー操作のとき「カタカタ」と音が出たりすることがあります。その時は、沸とうしたお湯を満水まで入れ、レバーを強めに押しお湯を通して通路の清掃を行ってください。
- ・レバーを押している間、通路の固形物が取れ、急にお湯が勢いよく出る場合がありますのでやけどにご注意ください。

- 下板シールゴムや揚水パイプは消耗部品です。  
ご使用にともない傷みますので、1年を目安にご確認ください。  
消耗部品が傷んだまま使用を続けていると、エアリープが発生して内容物の出が悪くなる原因になりますので、早めの交換をおすすめします。
- 交換の際は、品番をご確認の上、お買い上げの販売店又は当社のお客様相談室までご連絡の上、お買い求めください。
- 下板シールゴムの交換方法  
下板シールゴムを取り替えるときは、図のように下板の溝にきっちりと取り付けてください。逆に取り付けると内容物が出ない事がありますので充分注意してください。



## お問い合わせ先

品質には万全を期しておりますが、万一不具合な点、その他故障などがございましたら、使用しないで求める販売店が当社お客様相談室までお問い合わせください。お問い合わせの際は、必ず本体に記載されている品番をお確かめください。

## オルゴ お客様相談室

TEL : 06-6961-5885  
FAX : 06-6969-6692

受付時間：9:00～17:00（土・日・祝日・年末年始等を除く）  
ホームページアドレス：<http://www.allgo.co.jp>



本社 〒538-0044  
大阪市鶴見区放出東1-4-2 代表：TEL.06(6968)5555 FAX.06(6968)5564